

2022年1月1日～2023年12月31日の間に 当院において入院治療を受けられた方及びご家族の方へ

「Rapid Response Systems (RRS) における患者選択法と効果に関する検討。」へのご協
力のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合医療センター麻酔・集中治療医学 講師 林 真雄
研究分担者 川崎医科大学総合医療センター看護部 ICU看護主任 山本 省吾

1. 研究の概要

患者様の重症化を予測する事ができれば、予期せぬ心停止や、状態の急激な悪化による患者様生命の危機を抑止できるのではないかと考えるのは、直感的に正しいと考えられ、また、それを肯定する研究も存在します。当院でもこの考えに基づき2021年からRapid Response Systems(RRS)と呼ばれる、院内救急システムのようなものを稼働させました。RRSの活動による効果を上げるためには評価と改善が重要であるとの意見があり、この観点から我々も、自身の活動状況を把握するため2022年1月1日～2023年12月31日までにRRSによって介入した患者様の情報(介入に至った経緯と介入の結果等)を精査し、RRSの介入による結果の評価を行い、今後の改善点を明らかにしようと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022年1月1日～2023年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センターにおいて入院治療を受けられた方のうち、RRSの介入を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年5月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において入院治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに該当患者様のデータを選び、個人が特定されるような情報以外のデータ分析を行い、RRSの介入から一週間後と三カ月後の患者様の状態を調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、RRS介入に至った原因、等

試料：使用しません

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センターICU内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年4月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 麻酔・集中治療科

氏名：林 真雄

電話：086-225-2111 内線 48058（平日：8時00分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：mao893@aol.com

3. 資金と利益相反

本研究は学内研究費を用いて行われます。また、本研究に関する利益相反の有無、およびその内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。